

18. 「スプリットウィンドウ法」による西太平洋熱帯海域における可降水量変動
*竹見哲也・柴山健一（大阪大学大学院）
19. 「みらい」MR00-K04航海で観測された ITCZ 降水システムのマルチスケール構造
*勝俣昌己（海洋科学技術センター）
20. ITCZ 内に見られる大気対流活動の特徴について
*米山邦夫（海洋科学技術センター）
21. 1999年夏季に北半球高緯度地域の沿岸部に発生した海面水温の顕著な不偏差
*河合隆繁（日本大学大学院）
22. 駒橋第二海山周辺の海洋構造
*田中俊輔・関根義彦（三重大学）
23. 親潮系の低塩分水は相模湾を越えて西に移動できるか？
*内山 圭・関根義彦（三重大学）
24. 日本の気温に影響するグローバルな大気海洋変動
*伊藤 仁・関根義彦（三重大学）
25. オホーツク海の海洋環境に関する数値モデル実験
*酌井敏匡・関根義彦（三重大学）
（*は発表者）
- なお、例会終了後、懇親会を行う予定です。

気象技術講習会のお知らせ

（社）日本気象学会は（財）気象業務支援センターとの共催で、初心者向けに「気象学の基礎」の第4回講習会を下記の要領で2月から実施する。講習の終了後、希望者には試験（又はレポートの提出）を行い、合格者には修了証を発行する。今回は、講義の時間数をこれまでの約1.5倍にするなど、いくつかの改善を行っている。

1. 講習会の名称：気象技術講習会「気象学の基礎」課程（第4回）
2. 講習会場：（財）気象業務支援センター大会議室（4F）
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル（地下鉄東西線 竹橋駅下車 徒歩3分）
3. 期間：2月14日から5月16日までの毎週水曜日 14時～17時の全14回。
4. 講習内容：気象技術習得のための気象学とそれに関する数学・物理の基礎を解説する入門講座。

5. 申し込み方法及び申し込み先：

はがきに住所、氏名、年齢、電話番号及び「気象学の基礎課程受講希望」と書いて〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル（財）気象業務支援センター講習会（基礎）係まで申し込む。

締切りは2月4日（日）（消印有効）

定員は40名で、定員になり次第締め切る。

6. 受講料：教材費込みで1人51,000円（税込み）。

詳しい内容は（財）気象業務支援センター及び（社）日本気象学会のホームページに掲載する他、次のところへ。

（財）気象業務支援センター 講習会（基礎）係

Tel：03-5281-0440, Fax：03-5281-0443

E-mail：kousyuu@jmbasc.or.jp